



KAERU-SHINBUN

かえる

新聞

Vol.7
特別号
2024年

栃木県鹿沼市には「自分をかえる、地域をかえる」を合言葉に活動している高校生たちがいます。活動する高校生たちは自分たちを「かえる組」と名乗ります。かえる新聞は、そんな高校生たちの地域活動や日常をまとめて、お伝えしていきます。きつとかえる組の姿が地域の未来の姿。どうぞ、お楽しみください。

ISSUE
今回の記事◎2024 やんぐ祭／生徒を代表して／ふりかえる／支えてくれたやんぐスタッフ／フィールドワーク／ダンス



↑ カルタ「(い) いとこいっぱい みんなの鹿沼市」

無料

TAKE
FREE

活動写真集

フィールドワーク

かえる組の活動はフィールドワークからはじまります。鹿沼は自然も産業も伝統も魅力がたくさん。知れば知るほど面白いのが鹿沼です。そんな鹿沼で頑張る先輩たちの取組を見て、感じて、鹿沼の良さに気づいてもらうためのフィールドワークです。パンフレットや動画だけでは分からない、音やにおい、スケール感などを現場で体感できる機会でも、とても刺激をもらっています。



今年度は、以下のみなさまにフィールドワークのご協力をいただきました。本当にありがとうございます。

伝統 鹿沼等増形早苗
文化 文化活動交流館
産業 星野工業(株)
文化 帝国繊維(株)
文化 川上澄生美術館
農業 鹿沼市農業公社
自然 スノーピーク鹿沼キャンプフィールド&スパ

ABOUT かえる舎のこと KAERU-SHA

ダンス

20 世紀の巨匠の一人アンリ・マティス。マティスの代表作「ダンス」は見る人に明るい印象を与え、誰かの手をとって、仲間に加わり、一緒に踊りだしたいという衝動をかきたてます。まるで絵の中のエネルギーが見る人の心にどんどん流れこんでくる感じ、最高。◆ かえる舎の斎藤です。「仲間って最高。」とたくさん思った 1 年でした。かえる組には自分 1 人ではできなくても助け合える仲間がいます。メンバーの個性が光る場所でもあり、「もっとみんなの力になりたい」と成長できるような場所でもありました。◆ 課題が多様化する時代では、人々が手を取り合う「共助のコミュニティ」が大切。人を巻き込み、一緒に踊りたくなるようなコミュニティでは、課題に取り組んでいる人たちが楽しそうに前進し続けることがとても大切。そんなことを生徒たちの姿から教わりました。さあ、みんなもできることから、レッツ ダンス。



募集

一緒に活動してみたい高校生は、Instagramのダイレクトメッセージに氏名、学校、応募動機を添えて連絡ください。



Instagram

特定非営利活動法人 かえる舎
〒403-0009
山梨県富士吉田市富士見1丁目1-5
<http://kaeruya.jp>



WEB



2024やんぐ祭

ACTIVITY REPORT

2024年、かえる組をふりかえる

鹿沼市の高校生地域活動グループ「鹿沼かえる組」では15名の高校生たちが活動しています。学校はバラバラです。共通しているのは、普段生活している、もしくは通っている鹿沼市のために何かしてみたいという思いです。6月から活動がスタートし、メインは10月27日（日）に実施される「やんぐ祭」。鹿沼の魅力を高校生が伝えるため開催しているイベントで今年で3回目です。かぬまワールドフェスティバルと共催で、多くの来場者で賑わいます。

活動は地域を知ることから始まります。

実際に地域の現場を体感するフィールドワークや、座学を通して鹿沼にどんな魅力があるか発見していきます。そして、見つけた魅力を、誰にどう伝えていくか考えていきます。今年は「鹿沼の魅力を伝えるカルタ制作」と「鹿沼再発見クイズ」の2つに取り組みしました。鹿沼の魅力を伝えるカルタでは、見つけた魅力をさらに次世代に楽しんでもらうためにカ



生徒を代表して

ACTIVITY REPORT

自分らしくいられる場所

3年のゆあです。去年からかえる組に参加していて、去年は副リーダー、今年はリーダーとして活動させてもらいました。

やんぐ祭は3回目でした。私は2回目の参加なので、ある程度流れは把握していました。だから、去年よりはスムーズに進めることができました。意識して取り組みました。それでも、準備は大変でしたが無事イベントをやり遂げられて達成感でいっぱいです。今年は現地にきてくれた人たちとコミュニケーションを取る機会が多い企画ばかりだったので、鹿沼市民の温かさを改めて感じられました。やっぱり良い街です。また、今年はいろんな案を出してくれる人や、雰囲気をもたせてくれるムードメーカーなど、いろんな個性のあるメンバーがかえる組に集まってくれました。毎回の活動がとても楽しく感じて、受験期を迎えている私にとっては最高の場であり、心が癒される場所でした。

この半年間の活動は今まで一番最高の時間でした！後輩たちの活動は続いていきますので、これからの鹿沼かえる組もよろしく願います！

ふりかえる

ACTIVITY REPORT

活動を通しての変化

鹿沼について全然知らなくて、活動を通して気づけて、自分の住んでいる地域に誇りを持てたし、嬉しかったです。仲間と協力して一緒に作り上げていく感じがとても楽しかった。

みんなで試行錯誤を重ねて、鹿沼の魅力を多くの方々に届けることができました。クイズも「全部解きました！」と来てくれた小さな子供たちに、昨年作成した方言シールを景品で渡した際に、とても喜んでくれて、私の方が嬉しくなりました。

ここでは鹿沼市の特色と温かさを感じられ、また参加したいと思いました。

最初から企画をしてイベントをするのがはじめてで、とても新鮮でかえる組に入って良かったと思います。そしてもっと鹿沼の魅力を知っていききたいし、たくさんの人にその魅力を広めていきたいです。

地域の方々との交流はいつも新鮮で、心があたたまります。そんな場所を守っていくことが、これからの地域活動を担う私たちの使命であると思っています。

支えてくれたやんぐスタッフ

ACTIVITY REPORT

卒業生たちが毎回の活動をサポート

かえる組卒業生のもかです。かえる組の活動では、卒業生や大学生たちが活動をサポートさせてもらっています。やんぐスタッフといいますが、卒業しても、地域に関わり続ける機会があるのはすごい嬉しいですし、何より楽しいです。私たち、やんぐスタッフの役割は円滑に活動が進むようにお手伝いすること。一番初めの活動では、まだみんな緊張しているのが積極的に高校生一人一人に声をかけたり、和やかな雰囲気づくりを心がけていたりします。ただ、活動を重ねるたびに、高校生たちの成長はすごくて、個人個人でビジョンをもって取り組んでいるところには明らかにスイッチが入り、干渉せずに任せられるようになっていました。遅くなっていく姿を見られるのは感動です。イベント本番も私たちの役割は裏方で、各ブースの担当、動画や設営までやんぐスタッフも協力して取り組みました。高校生たちが不安にならないように、自分たちがまずは笑顔でいることを大切に取り組みました。慌ただしくも、何事もなく無事にやんぐ祭ができて本当に良かったです。

後輩たちの活動を支えながら、一緒に地域の方々と交流できるやりがいも感じます。卒業生たちはこれからもどんどん増えていくので、よりサポート体制も強くなっていくんじゃないかと楽しみです！かえる組の後輩たちが続けていけるように、やんぐスタッフたちも頑張ります！

